

1. 件名 : 原子力事業者が実施する令和元年度総合訓練の実施内容の確認

2. 日時 : 令和元年10月31日(木) 9時30分~12時00分

3. 場所 : 六ヶ所オフサイトセンター 全体会議室

4. 出席者 :

原子力規制庁六ヶ所原子力規制事務所 宮本副所長、木村(直)原子力防災専門官、上野原子力運転検査官、本間原子力運転検査官、皆川原子力運転検査官、山神原子力運転検査官

日本原燃 再処理事業部防災管理部防災業務課長他

本社防災グループ 2名、再処理事業部防災管理部 5名

5. 要旨

日本原燃再処理事業部原子力事業者防災業務計画に基づき再処理事業部が実施する令和元年度総合訓練(以下、「総合訓練」という。)について再処理事業部担当者から実施計画概要の説明を受け、原子力規制庁から以下のとおり確認・要望等を行った。

(1)総合訓練の実施にあたり、実動訓練で「厳しい環境下」を想定した作業の実施を計画しているが、実際に積雪後、未除雪の状態を想定した訓練を実施してほしいと要望し、除雪車の先導などを加えるとの回答を受けた。

(2)今年度の要素別訓練の際に現場要員の行動を制限してしまう様な状況付与及びコントローラーの指示が見受けられたが、改善策は如何にとの質問に対し、現場要員の状況判断を誘導してしまう様な状況付与を避けるとともに、コントローラーの事前教育を入念に行うよう改善するとの回答を受けた。

(3)今年度の要素別訓練の際に代替注水の水源を早々に尾駁沼としているが、実場面では他に敷地内に水源がある中で、企業利益を無視した判断はありえないのではないかと質問に対し、すぐに改善することはできないが、研究演習等の形で検討していきたいとの回答を受けた。

6. その他 :

なし